

(2) 循環型社会に向けた社会基盤づくり

九州を育む恵まれた自然環境は、暮らす人、訪れる人に広く愛され活用されつつ、次世代に継承されなければならない。このため、社会資本の整備に際しては地域の生態系や景観に配慮するとともに、自然環境の再生・創出に取り組む。また、有明海・八代海をはじめとする閉鎖性水域等については、藻場・干潟の造成、流域の水循環の改善及び海洋汚染の防止等総合的な施策によって良好な水域の保全・創造に取り組む。

社会資本の整備に当たっては、環境負荷の低減に配慮し、建設廃棄物の再資源化・縮減、再生資材の利用促進等を推進する。また、静脈物流システムの構築等を支援する基盤整備に取り組み、循環型社会の形成を図る。

さらに、地球温暖化防止や生活環境の改善に向けて、都市部における交通円滑化やTDM(交通需要マネジメント)、モーダルシフトの推進、低燃費車・低公害車等の普及等による環境負荷の少ない交通体系の形成等を促進する。

【重点目標】 自然環境を保全し、新たな再生・創造に取り組む。

- 1

良好な河川環境を保全・再生する河川整備、下水道整備、生態系に配慮した道路構造の採用に加え、良好な湿地環境の再生や砂浜の復元・創造をすすめ、美しく豊かな自然環境を保全・再生する。



資料) 国土交通省九州地方整備局

写真 多自然型川づくりの事例
(筑後川支川高良川)



資料) 国土交通省九州地方整備局

図 ふるさと海岸整備計画(別府港海岸)

【指標】	現況	H19目標	将来目標	備考
・良好な河川環境を創出・再生・保全する事業を実施している河川数	11河川	15河川	20河川	
・下水道処理人口普及率	51%	58%	81%	
・復元・創出された砂浜の面積 1)	約250ha	約360ha	-	

将来目標は概ね10～15年後の目標。ただし、備考欄に がある場合は長期的目標

1)は河川局、港湾局、農政部局、水産庁各所管を対象に算定

【主要施策・主要事業】

河川環境を保全・再生する河川整備（福岡県等）
 松浦川・アザメの瀬地区の自然再生（佐賀県）
 五ヶ瀬川水系友内川、家田川・川坂川の自然再生（宮崎県）
 下水道事業の促進：公共下水道事業
 高度処理の促進：公共下水道事業
 海岸環境整備事業等の推進
 自然環境に配慮した道路整備

うち5箇年以内に重点的に実施する主要施策・主要事業箇所

【主要施策・主要事業】

遠賀川・水質保全対策（福岡県）
 下水道事業の促進：佐賀市公共下水道事業等230箇所
 高度処理の促進：柳川浄化センター等19箇所（柳川三橋公共下水道事業等14事業）
 ふるさと海岸整備事業：別府港海岸（大分県）等
 自然環境に配慮した道路整備

有明海・八代海等の閉鎖性水域や周防灘等の海域における浮遊ごみ・油の回収、下水道の整備促進等により海域環境の保全を図るとともに、藻場・干潟・覆砂等による水質・底質の改善を通して、生育環境の回復等良好な海域環境の保全・創造を図る。



資料) 国土交通省九州地方整備局

写真 環境整備船「海輝」



資料) 国土交通省九州地方整備局

図 「海輝」稼働エリア(有明・八代海)

【指標】	現況	H19目標	将来目標	備考
・復元・創出された干潟・覆砂等の面積	約100ha	約300ha	約400ha	

将来目標は概ね10～15年後の目標。ただし、備考欄に がある場合は長期的目標

【主要施策・主要事業】

海洋環境整備事業：周防灘、有明海、八代海

うち5箇年以内に重点的に実施する主要施策・主要事業箇所

【主要施策・主要事業】

海洋環境整備事業：周防灘、有明海、八代海

沿道の緑化や官庁施設の屋上緑化をすすめて環境負荷の低減に努める。



資料) 国土交通省九州地方整備局

図 有明海沿岸道路高田大和バイパス沿道緑化イメージ



資料) 国土交通省九州地方整備局

写真 緑陰道路(福岡市けやき通り)



資料) 国土交通省九州地方整備局

写真 屋上緑化整備例(飯塚合同庁舎)

【主要施策・主要事業】

道路緑化

環境配慮型官庁施設（グリーン庁舎）の整備

自然のままの街路樹の管理（緑陰道路）

うち5箇年以内に重点的に実施する主要施策・主要事業箇所

【主要施策・主要事業】

道路緑化：

国道208号有明海沿岸道路（大牟田～大川西）（福岡県）【H19年度供用予定】等

自然のままの街路樹の管理（緑陰道路）：けやき通り（福岡市）等

グリーン庁舎の整備：福岡第1地方合同庁舎<増築>

- 4

地域住民やNPO等と連携し、地域と一体となった河川の水質浄化対策や河川や道路の維持管理等の活動を推進し、良好な水域の保全や道路環境の保全に努める。



資料) 国土交通省九州地方整備局

図 清流ルネッサンス 施設概要図



資料) 国土交通省九州地方整備局

写真 アダプト制度による清掃活動(熊本県 白川)



資料) 国土交通省九州地方整備局

写真 ボランティアによる空缶、ゴミ拾い



資料) 国土交通省九州地方整備局

写真 植栽等の除草、手入れ、花壇で花作り

【指標】	現況	H19目標	将来目標	備考
・道路に関するボランティア活動参加者数	約4.6千人/年	約1万人/年	-	

【主要施策・主要事業】

遠賀川、大淀川、肝属川、嘉瀬川水系多布施川・水環境改善緊急行動計画(清流ルネッサンス)の実施(福岡県、宮崎県、鹿児島県、佐賀県)
 地域住民が河川の「里親」となり維持管理する「アダプト制度」(熊本県等)
 地域住民等が道路清掃や美化活動を支援するボランティアサポートプログラム等
 道路に関するボランティア団体等の情報交換の場「道守九州会議」の支援

うち5箇年以内に重点的に実施する主要施策・主要事業箇所

【主要施策・主要事業】

地域住民等が道路清掃や美化活動を支援するボランティアサポートプログラム等
 道路に関するボランティア団体等の情報交換の場「道守九州会議」の支援

【重点目標】 廃棄物等の排出抑制、循環的な利用の推進を図る。

- 1

新技術の活用による老朽化した排水機場の機能再生・高度化や総合静脈物流拠点(リサイクルポート)を拠点とした静脈物流ネットワークを構築することによる鉄スクラップ、古紙、ペットボトル等の効率的なリサイクル及び建設副産物のリサイクルをすすめる、廃棄物等の排出量の抑制を図る。また廃棄物処理場の不足に対応するため、海面廃棄物処分場の整備等をすすめる。その他に、下水汚泥処理場の広域化・共同化を図り、効率的な処理や資源の再利用をすすめる。



資料) 国土交通省九州地方整備局

図 リサイクル状況



資料) 国土交通省九州地方整備局

写真 リサイクルポート(左:北九州港、右:三池港)

【指標】	現況	H19目標	将来目標	備考
・海面処分場における廃棄物の受け入れ能力	約7,300万m ³	約9,700万m ³	約12,000万m ³	
・リサイクルポートにおけるリサイクル企業立地面積	約50ha	約70ha	約120ha	

将来目標は概ね10～15年後の目標。

【主要施策・主要事業】

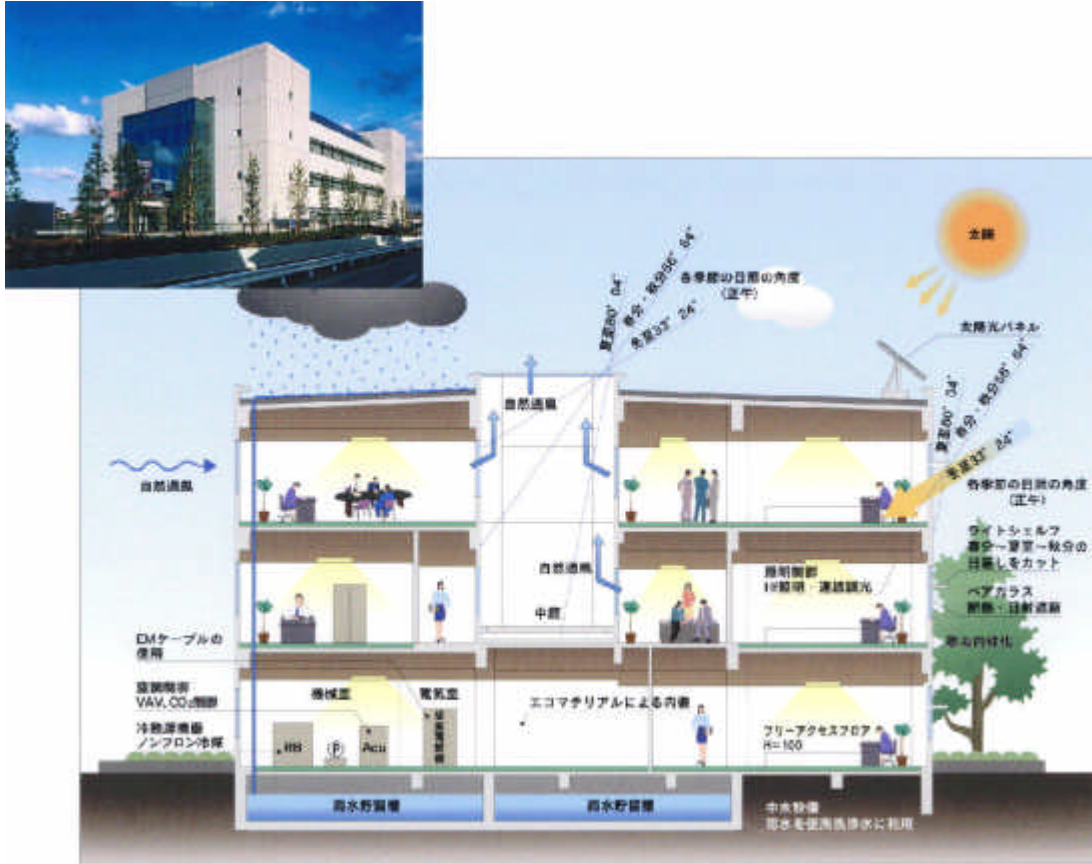
国内物流ターミナル整備：北九州港、三池港 等
 廃棄物海面処分場整備
 筑後川・老朽化排水機場の機能再生・高度化（福岡県、佐賀県）
 雲仙・砂防事業で発生した土の砂防施設への利用（長崎県）
 汚泥の減量化および建設資材等として再生する事業
 道路整備事業（静脈物流ネットワークを形成する道路整備）

うち5箇年以内に重点的に実施する主要施策・主要事業箇所

【主要施策・主要事業】

北九州港響灘東地区国内物流ターミナル、三池港内港北地区国内物流ターミナル
 廃棄物海面処分場整備：下関港、鹿児島港 等
 筑後川・老朽化排水機場（中流5排水機場）の機能再生・高度化（福岡県、佐賀県）
 道路整備事業（静脈物流ネットワークを形成する道路整備）：
 国道208号有明海沿岸道路（大牟田～大川西）（福岡県）【H19年度供用予定】（再掲）
 汚泥の減量化および建設資材等として再生する事業：
 福岡県御笠川那珂川流域下水道（御笠川浄化センター）
 建設副産物リサイクルの促進

高機能ガラス、太陽光発電等を採用した環境配慮型官庁施設(グリーン庁舎)の整備や下水等の汚泥が保有する消化ガス等のエネルギーの電力化等の促進により省エネルギーをすすめ、環境負荷の低減を図る。



資料) 国土交通省九州地方整備局

図 グリーン庁舎整備例(中津地方合同庁舎)

【主要施策・主要事業】

環境配慮型官庁施設(グリーン庁舎)の整備等
消化ガス発電を行う事業

うち5箇年以内に重点的に実施する主要施策・主要事業箇所

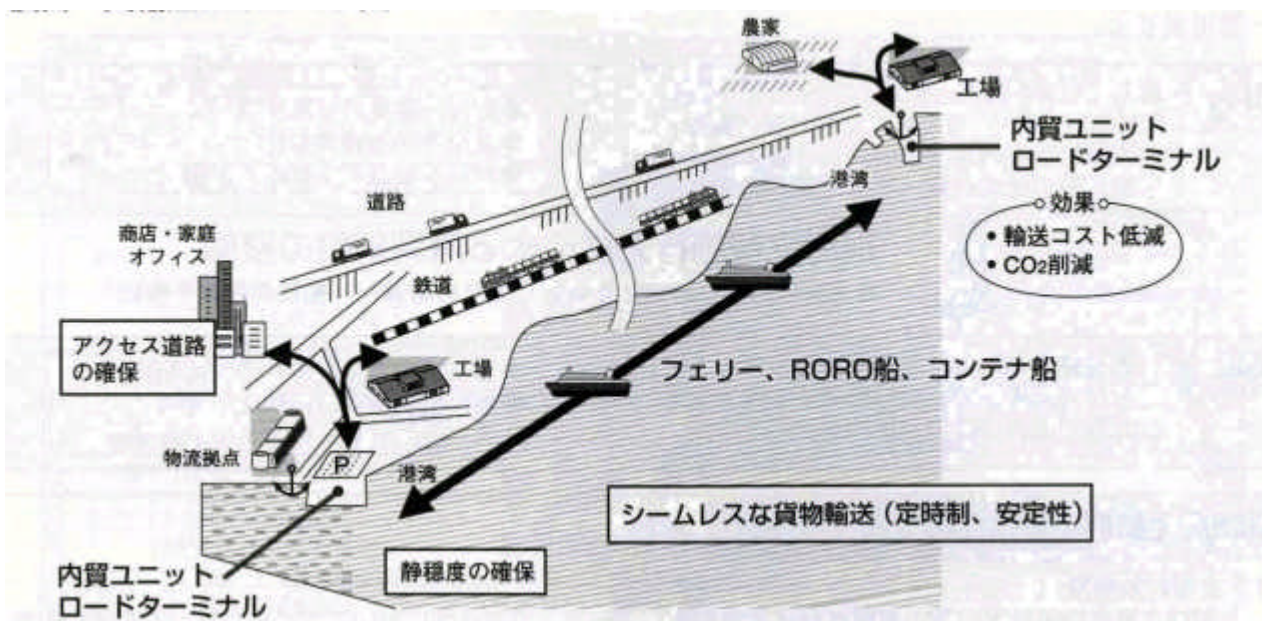
【主要施策・主要事業】

既存施設のグリーン改修
消化ガス発電を行う事業: 熊本県熊本北部流域下水道事業

【重点目標】 環境負荷の低減に資する交通基盤整備を強化する。

- 1

環境負荷の少ない大量輸送機関である鉄道貨物輸送・内航海運の活用を図るモーダルシフトをすすめるため、複合一貫ターミナル等の港湾物流拠点の整備をすすめる。
 また、空港と周辺地域との調和ある発展へ対応するため、また環境負荷の低減を図るための取組みをすすめる。



資料) 国土交通省港湾局

図 複合一貫輸送イメージ

【指標】	現況	H19目標	将来目標	備考
・フェリー等国内海上幹線物流機能充足率	約60%	約75%	約85%	

将来目標は概ね10～15年後の目標。

【主要施策・主要事業】

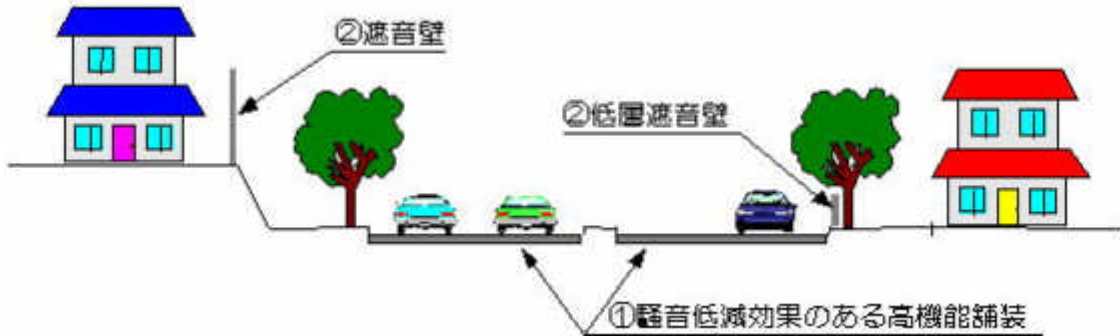
複合一貫輸送ターミナル整備：下関港、北九州港、厳原港 等
 エコエアポートの推進及び対策

うち5箇年以内に重点的に実施する主要施策・主要事業箇所

【主要施策・主要事業】

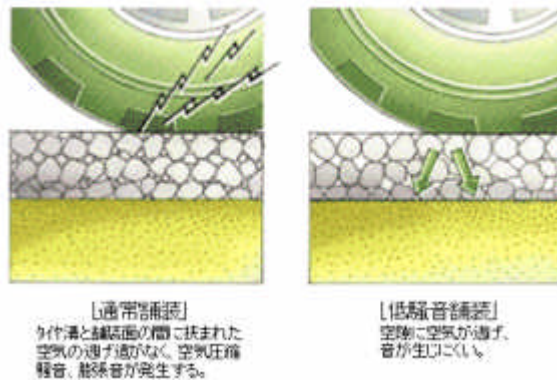
北九州港新門司地区複合一貫輸送ターミナル 等
 エコエアポートの推進

都市に集中する自動車交通を分散するために、バイパス・環状道路をはじめとする体系的な道路ネットワークの整備をすすめるとともに、沿道の騒音・振動の低減を図るため、高機能舗装や遮音壁、環境施設帯等の対策をすすめ、沿道環境の保全に努める。また、幹線道路において定期的に騒音の観測を行い、内容を公開する。



資料) 国土交通省

<騒音低減効果のある高機能舗装>



資料) 国土交通省

図 環境対策のイメージ

【指標】	現況	H19目標	将来目標	備考
・道路交通騒音の夜間要請限度達成率（直轄国道）	67%	70%	73%	

将来目標は概ね10～15年後の目標。

【主要施策・主要事業】

- 道路環境対策（騒音等）
- 道路改築事業（バイパス、環状道路の整備等）
- 沿道環境のモニタリング

うち5箇年以内に重点的に実施する主要施策・主要事業箇所

【主要施策・主要事業】

- 沿道環境整備事業：出水地区環境整備（鹿児島県）【H15年度供用】
- 高機能舗装（排水性（低騒音）舗装等）